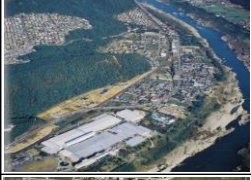
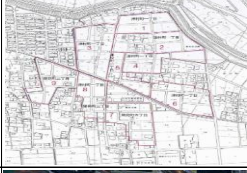
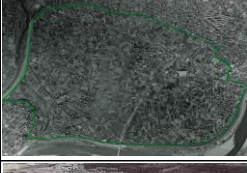
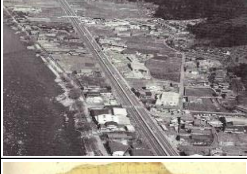
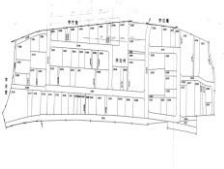
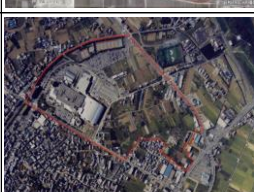


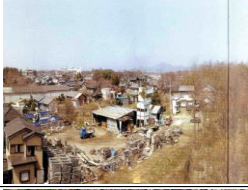
1991 年～2000 年 事業完了地区

番号	事業対象地区	事業期間(年)		事業について	事業前	事業後
【148】	岐阜市則武	16	(1978-1994)	根菜類の産地として県内外にその名声を馳せていたが、都市化により農地にもスプロール現象が出はじめ、都市基盤整備によりその防止を図ることが急務とされ、環状線や運動場加茂線の都市計画道路決定にはじまる土地整備を行った。施工地区面積は 463,929.38㎡（東京ディズニーランド程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は 602 名、総事業費は約 38 億円		
【149】	可児市川合北	6	(1991-1997)	中京圏の中核都市名古屋市への交通条件に優れた可児市では昭和40年代より、ベッドタウンとしての宅地開発が活発となり、人口が急増した。本地区は、公共施設の未熟な市街地の形成とともに農地との土地利用が混在をしていたため、土地区画整理事業を実施し、自然環境を活用した快適で豊かな居住地を創設した。施工地区面積は 264,900.42㎡（東京ドーム約5 個半程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は 159 名、総事業費は約 25 億円		
【150】	各務原市加幸町	7	(1993-2000)	本地区はJR那加線、名鉄新那加駅にも近く、住宅地としては恵まれた地域であるが、未整理のままの区域であり、乱開発が続くと考えられた。そのため、道路や宅地、公園を土地区画整理事業により整備した。施工地区面積は 30,687.73㎡（野球グラウンド3 つ程度 ⁵⁾ ）、総事業費は 33,600 万円		
【151】	各務原市大塚	3	(1988-1991)	昭和56年頃より地域の発展を願う土地所有者の施行に対する気運が高まり、昭和63年に組合の設立認可となった。組合設立までは時間がかかったが、設立後は大きな問題も生じず、約3年で事業が完了した。		
【152】	関市鋳物師屋	8	(1992-2000)	国道248号線に隣接する地域で、住宅地の需要増大による地区内での不規則な宅地化が進み、地域の人から住みよいまちづくりを求める声が高まった。土地区画整理事業により道路、公園、上下水道等が整備された。関中央病院や地域防災の拠点の桜ヶ丘ふれあいセンターの建設等がされて大きく生まれ変わった。		
【153】	恵那市長島町正家	8	(1991-1999)	本地区は恵那市の中心市街地に隣接しながら農地が点在し、その中に市役所や製紙工場が存在していた。そのため、区画整理事業を行い、都市計画4路線、区画道22路線当を築造し、公園4ヶ所(うとう公園・ほりた公園・マロニエ公園・まきもと公園)を配置した。施工地区面積は 179,133.78㎡（モレラ岐阜の敷地面積程度 ⁶⁾ ）、組合員総数は 116 名、総事業費は約 32 億円		
【154】	本巣市三橋	7	(1986-1993)	昭和60年頃までは農地が多い地域であったが、土地区画整理事業を行い良好な住宅地の形成や道路の整備がされた。この地区の周辺に岐阜高専がある。		
【155】	神戸町丈六道	8	(1987-1995)	本地区は岐阜・関ヶ原線が走り、工業団地に囲まれた地域で、家屋は数戸点在してはいるものの大部分が畑と山林からなっていた地域であり、未整備の道路があるだけで耕作にも不自由をしていた。土地区画整理事業により公共施設の整備改善・宅地の利用増進を図った。後に大野・神戸ICが計画された。		
【156】	垂井町新井	6	(1994-2000)	本地区は、垂井町北部に位置し、岐阜・関ヶ原線に隣接し、保育園や小学校、中学校など公共施設が近接している。日当たりがよく、優良な住宅地として発展することが予想されるため土地区画整理事業を行った。これにより、地区全体が健全で快適な居住性をもつ住宅地となった。施工地区面積は 58,364.07㎡（マーサ 21 の敷地面積程度 ⁶⁾ ）、組合員総数は 72 名、総事業費は約 5 億円		

【157】	各務原市川島緑町	10	(1987-1997)	本地区は事業施行前までは狭小な道路・水路しかなく、農地の中に宅地が混在する地域であるなか、年々宅地需要が増加したことにより本事業を行った。これにより、整然とした道路網や公園に恵まれた地域になった。施工地区面積は 232,521.67㎡（土岐プレミアム・アウトレットの敷地面積程度 ⁶⁾ ）、組合員総数は 321 名、総事業費は約 16 億円		
【158】	大垣市熊野町	10	(1986-1996)	本地区は、静寂な農村であったが、JR荒尾駅や教育施設等も整っており、乱開発が始まった。そこで土地区画整理事業が行われた。これにより、住宅地や公園が整備され豊かさゆとりを実感できるまちに生まれ変わった。施工地区面積は 181,247.40㎡（モレラ岐阜の敷地面積程度 ⁶⁾ ）、組合員総数は 193 名、総事業費は約 11 億円		
【159】	大垣市南若森町	6	(1987-1993)	昭和46年に土地区画整理事業の話が持ち上がったが、問題が生じ事業化に至らなかったが、昭和60年代に入り、農業を取り巻く状況の変化や市街化区域の線引き見直し問題とが相まって事業化に至った。地区の殆どが梨園のため、移植や伐採などの制約を受けて事業が進められた。		
【160】	大垣市津村町	10	(1988-1998)	本地区は、北は平野井川、東は揖斐川に接し、西には400戸程の市営住宅がある静かな田園地帯であった。市街化区域の中でも土地利用は遅れており、無秩序に市街化が進み土地利用の悪化が進むため本事業を行った。これにより、公共施設が整備改善され、優良な住宅地となった。施工地区面積は 178,089.61㎡（モレラ岐阜の敷地面積程度 ⁶⁾ ）、組合員総数は 84 名、総事業費は約 15 億円		
【161】	大垣市和合本町	5	(1993-1998)	本地区は、樽見鉄道大垣駅に面しており、交通の利便性も比較的高く、宅地化も進み市街地の形成も進行していた。しかし、農業を中心とした地区で住宅目的の土地利用は望めない状況にあったため、本事業を行った。これにより、住宅・アパートの建設も進み閑静な住宅街が形成された。施工地区面積は 48,665.19㎡（東京ドーム 1 つ程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は 54 名、総事業費は約 5 億円		
【162】	岐阜市島	25	(1972-1997)	本地区は野菜類の生産地として、見渡す限りの畑地であったが、本事業で中心市街地に近いという立地条件を生かした住宅地の形成を図った。全国でも稀な320ヘクタールという大規模な土地区画整理事業を行った。環状線や岐阜北方線、河川整備等が行われ良好な生活環境と利便性に富んだ市街地に生まれ変わった。		
【163】	郡上市八幡町	18	(1979-1997)	本地区では郡上郡の中核都市として発展して行くための都市基盤整備が課題となっていたため、土地区画整理事業を行った。その間東海北陸自動車道の建設により計画変更が必要となるなどの困難があり、約18年あまりの歳月をかけて整備が完了した。		
【164】	美濃加茂市川合町	7	(1990-1997)	木曽川を軸として集落が形成され、近代に至り道路、鉄道等交通機関の発展が地域社会の形成を促進し住宅地としての重要性が認識され、本事業が行われた。これにより、道路や公園、上下水道等が整備され良好な住宅地が形成された。施工地区面積は 64,419.92㎡（アクアウォーク 大垣の敷地面積程度 ⁶⁾ ）、総事業費は約 3 億円		
【165】	美濃市中有知	13	(1983-1996)	本地区では東海北陸自動車道美濃ICの開設等に併せて住宅地が進む中で美濃市の玄関口に相応しい住環境の整備が望まれており、本事業に至った。宅地整備・踏切設置・公園整備などを行い、住環境の良いまちとなった。施工地区面積は 265,760.18㎡（土岐プレミアム・アウトレットの敷地面積程度 ⁶⁾ ）、組合員総数は 243 名、総事業費は約 26 億円		
【166】	北方町柱本	12	(1981-1993)	本地区は事業施行前までは狭小な道路・水路しかなく、農地の中に宅地が混在する地域となっていた。また、宅地需要が増加したため都市基盤整備の推進が求められ本事業に至った。岐阜・北方線をはじめとする都市計画街路3路線の整備、北方西小学校用地の確保など北方町の発展にも大きく寄与した。施工地区面積は 740,912.12㎡（東京ドーム 16個程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は 306 名、総事業費は約 70 億円		

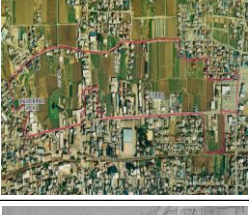
2001 年～2010 年 事業完了地区

番号	事業対象地区	事業期間(年)		事業の背景	事業前	事業後
【167】	美濃市笠神	4	(2004-2008)	本地区は美濃市の中心市街地に近く、地区西側には県営工業団地「美濃テクノパーク」、北側には岐阜・美濃線に接していることから隣接する地域の市街地整備により、今後この地区の市街地の影響が考えられるということで本事業が行われた。これにより、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進が図られた。施工地区面積は 29,274.68㎡（甲子園球場 2 つ程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は 44 名、総事業費は約 3 億円		
【168】	各務原市鵜沼西町	10	(1991-2001)	本地域は市街化区域であったが未整理のままであったため、公共施設と住宅地を同時に整備することのできる土地区画整理事業を行った。道路や公園、上水道が整備され、良好な住宅地が形成された。施工地区面積は 85,604.72㎡（イオンモール大垣の店舗面積の 2 倍程度 ⁶⁾ ）、総事業費は約 9 億円		
【169】	岐阜市長良	10	(1991-2001)	昭和61年、環状線道路早期着工と共に土地区画整理事業によるまちづくりの機運が高まった。土地区画整理事業により環状線及び区画道路や公園、内水対策としての天神川の河川整備、水路等が整備された。施工地区面積は 204,000㎡（モレラ岐阜の敷地面積程度 ⁶⁾ ）、組合員総数は 200 名、総事業費は約 44 億円		
【170】	羽島市江吉良町(羽島駅東)	13	(1994-2007)	本地区は、JR東海道新幹線岐阜羽島駅、名神高速道路岐阜羽島ICに隣接しており、非常に恵まれた立地条件にありながら、一部の住宅地及び家内工業住居がある以外は概ね農地であったため、本事業に至った。施工地区面積は 604,000㎡（東京ディズニーランド程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は 414 名、総事業費は約 90 億円		
【171】	関市尾太	8	(2000-2008)	本地区は、東海環状自動車道の南側、東海北陸自動車道の東側に位置する地域で、尾太池を中心に農用地として利用されていたが、東海北陸自動車道東ルートの開通や県営工業団地「関テクノハイランド」の補完機能としての需要が高まったため本事業に至った。道路や公園等が整備され、良好な工業用地が形成された。施工地区面積は 142,000㎡（イオンモール各務原の敷地面積程度 ⁶⁾ ）、組合員総数は 45 名、総事業費は約 9 億円		
【172】	岐阜市鷺山東	9	(2001-2010)	本地区中央には都市計画道路本町打越線が、北には太平町下西郷線が整備され、急速に住宅建設が進んだ。このまま放置すればスプロール化が進むと考えられたため本事業に至った。区画道路や公園、排水路等の公共施設と宅地の一体的な整備により良好な生活環境と利便性に優れた市街地に生まれ変わった。		
【173】	岐阜市上土居	31	(1974-2005)	本地区は、鳥羽川や天神川が流れ、東側は長良福光区域に隣接しており、一部の集落がある以外は概ね水田地帯であった。東側に隣接した土地区画整理事業の施行により急速に宅地化が進行し、この波が本地区にも押し寄せ、近い将来宅地化されることは避けられず本事業に至った。住宅やアパートが立ち並び、公園も整備された。施工地区面積は 440,000㎡（名古屋駅の床面積程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は 401 名、総事業費は約 14 億円		
【174】	岐阜市正木	12	(1996-2008)	本地区内には、本市の基幹道路が3路線計画決定されており、市街地内の交通円滑化を図るためにも早急な整備が必要になっていた。また、市街化が進展しているものの、都市基盤整備が遅れおり、スプロール現象を起こしていたため本事業に至った。道路整備と併せて面的整備を行い、良好な市街地造成と都市施設整備を図った。施工地区面積は 235,000㎡（東京ドーム 5 個程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は 196 名、総事業費は約 35 億円		

【175】	岐阜市正木北部	13	(1991-2004)	本地区は、JR岐阜駅より北へ約5kmの位置にあり、中心市街地から近距離に位置しながら都市基盤整備の立ち後れから市街化が抑制されていたが、総合的な面整備を行い、市街化の促進誘導と良好なまちづくりを図った。区画道路や公園、水路や調整池等が整備された。		
【176】	岐阜市日野	18	(1984-2002)	本地区は、かつてこぶな等が泳いでいた田圃地帯であった。昭和初期以降土地区画整理事業によるまちづくりが数多く行われ、本地区も行うことになった。区画道路の整備により利便性が向上した。また、河川や水路の改良、公園の開設等による居住環境の改善に大きく貢献した。施工地区面積は532,020.80㎡（東京ディズニーランド程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は506名、総事業費は約57億円		
【177】	岐阜市長良東	11	(1991-2002)	本地区は、自然環境豊かな文教地区と福祉施設の充実した住宅地として適地であるが、面的整備もなく、市街地の遅れていた地域であり、地区内に環状線が計画されるや、早急な整備が望まれ、効果的な土地利用を図る事を目的として本事業に至った。施工地区面積は258,000㎡（東京ドーム5個半程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は254名、総事業費は約34億円		
【178】	瑞穂市犀川	6	(2004-2010)	本地区は、揖斐川と長良川の二つの河川に挟まれ、長年にわたり洪水に悩まされたため、内水対策として遊水地の容量を増大することにより、洪水に対する被害の軽減を図った。更に、公園や道路等が整備され、良好な商業地域や住居地域が形成された。施工地区面積は1,066,975.83㎡（皇居外苑の総面積程度 ⁵⁾ ）		
【179】	各務原市川島河田町	12	(1997-2009)	本地区内は、公共施設の整備水準が低く住環境の低下をきたしており、早急に良好な住宅地として整備する必要があった。道路や公園等の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図り、健全な市街地を造成した。施工地区面積は34,200㎡（イオンタウン大垣の店舗面積程度 ⁶⁾ ）、組合員総数は61名、総事業費は約4億円		
【180】	美濃加茂市田島町	12	(1992-2004)	本地区は、中心市街地に隣接しながら、農地が全体の約58%、宅地は約8%と低く、道路は幅員1～3mの未舗装の道路であったため、本事業に至った。これにより、国道248号バイパス、田島新池線、区画道路等を築造した。公園を4ヶ所配置し、美濃加茂市が大きくはばたく街づくりに寄与した。施工地区面積は305,000㎡（東京ドーム6個半程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は303名、総事業費は約30億円		
【181】	美濃加茂市中部台	11	(1997-2008)	本地区は、丘陵が主体となっており、土地利用形態については農地としての活用が主体で、都市的には未活用の土地が中心となっていたが、位置・地形から開発としてのポテンシャルは高く、東海環状自動車道の開通に伴う乱開発防止のため本事業に至った。道路・公園などを整備し、快適で安全な住環境を創出した。施工地区面積は745,525.52㎡（東京ドーム16個程度 ⁵⁾ ）		
【182】	美濃市曾代	5	(2003-2008)	本地区は、国道156号線に沿道しているが、高低差があるため高度な土地利用ができず、道路についても未整備であるため、本事業に至った。これにより、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図り、秩序ある市街地の形成と良好な住居環境を確保した。施工地区面積は33,878.25㎡（イオンタウン大垣の店舗面積程度 ⁶⁾ ）、組合員総数は24名、総事業費は約2億円		
【183】	美濃市もみじが丘	9	(2000-2009)	本地区の南側に工業団地「美濃テクノパーク」が接していることから、今後無秩序な宅地開発が予想されていたため、本事業を行った。道路・公園等公共施設の整備改善及び、宅地の利用増進を図り、良好な住居環境を確保した。施工地区面積は115,569.14㎡（東京ドーム2個程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は61名、総事業費は約10億円		

2010 年～2021 年 事業完了地区

番号	事業対象地区	事業期間(年)		事業の背景	事業前	事業後
【184】	岐阜市鷺山・下土居	16	(1997-2013)	本地区は、住宅地においてはスプロール化が進んでいた。東海環状自動車道とのアクセス強化を図るとともに、地区内交通の集散、円滑化を図るため、幹線道路の整備と併せて一体的な都市基盤整備を行い、高度な土地利用への誘導を図るために本事業が行われた。これにより、良好な居住環境が形成されるとともに都市防災機能も向上した。施工地区面積は 293,000㎡（東京ドーム 6 個程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は 358 名、総事業費は約 52 億円		
【185】	正木西	16	(1998-2014)	本地区は、岐阜環状線の西回りルートに隣接しており、環状線の整備に伴い沿線には各種商業施設が立ち並び、土地利用の在り方に大きく転換をせまられる地域であったため、本事業が行われた。区画道路の整備による利便性の向上や河川の改良や公園の開設等による居住環境の改善に大きく貢献した。		
【186】	各務原市鷺沼山崎町(鷺沼駅東部)	5	(2008-2013)	平成14年度に「鷺沼南町まちづくり基本計画」が策定された。鷺沼駅周辺整備事業と併せて地権者の意向により本地区でも土地区画整理事業が行われた。区画道路や公園の整備が行われた。施工地区面積は 22,272.77㎡（東京ドームの半分程度 ⁵⁾ ）、総事業費は約 3 億円		
【187】	関市笠屋	10	(2010-2020)	本地区は、地区の全域が都市計画区域であるが、都市施設は未整備であり、地区内の道路は幅員が狭く公共用地が不足していた。そのため、本事業に至った。区画道路が整備され、その沿線には商業店舗(スーパーセンターオークワ)や医療施設が開業し、安心安全で便利な住環境が整備された。施工地区面積は 114,700㎡（東京ドーム 2 個程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は 75 名、総事業費は約 8 億円		
【188】	恵那市大崎	11	(2001-2012)	本地区は、中心市街地に隣接しながら、都市基盤整備の立ち後れにより、無秩序な市街化形成が進んでいたため、本事業に至った。都市計画道路5路線、区画道路18路線、特殊路線4本を築造、また公園4箇所を配置し、雨水排水対策も行い、防災対策を進め、土地の高度利用の促進を進めた。施工地区面積は 193,297.11㎡（東京ドーム 4 個程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は 139 名、総事業費は約 32 億円		
【189】	高山市昭和町(高山駅周辺)	20	(1998-2018)	本地区は、JR高山駅周辺に位置する高山市の玄関口であり、高次商業集積拠点地区として位置づけられている。都市計画道路、駅前広場等の公共施設の整備と併せて商業・業務施設の拠点整備、住環境の整備を行い、高次商業拠点の形成を図ることを目的に本事業が行われた。駅前には公園(ポッポ公園)や交流広場が整備されたり高山地方合同庁舎が建てられたりした。		
【190】	多治見市笠原町	15	(2004-2019)	本地区は、公共公益施設の集積地に隣接する中心市街地であるが、全域的に農地等の未利用地が多く残存し、窯業関連施設が散在している。未利用地の早急な住居等土地利用への転換を図り、より良好な市街地の形成を目指す目的で本事業が行われた。公園整備では権現公園が完成した。また、モザイクタイルミュージアムも完成した。施工地区面積は 105,263.68㎡（東京ドーム 2 個程度 ⁵⁾ ）、組合員総数は 171 名、総事業費は約 19 億円		

【191】	瑞浪市益見	15	(1998-2013)	本地区は優良宅地を造成し、多くの住宅を建設すること、商業施設の誘致を図り、町の活性化を図ること、都市計画道路を柱に地域内の生活道路を築造することを目的として本事業が行われた。宅地造成や道路整備が行われ、商業施設(ホームセンターパロー)が建設された。施工地区面積は 193,056.48㎡(モレラ岐阜の敷地面積程度 ⁶⁾)、組合員総数は 153 名、総事業費は約 15 億円		
【192】	岐阜市則武東	21	(2000-2021)	昭和23年に忠節橋架け替え工事が完成したことに伴い、隣接する早田地区で土地区画整理事業の話が始まったことや、公共施設が不足しており、都市施設整備の立ち後れから市街化が遅れていたため、本地区でも土地区画整理事業が行われた。道路や調整池(晴天時には公園として利用)の整備が行われた。施工地区面積は 356,664.30㎡(モレラ岐阜の敷地面積の 2 倍程度 ⁶⁾)、組合員総数は 585 名		
【193】	多治見市音羽町(多治見駅北)	20	(2000-2020)	本地区は商業地域として商業業務機能や駅前の利便性を活かした土地利用を図る地区であるが、幹線道路から駅へのアクセスに欠ける点や土地利用の混在等が見受けられ、基盤整備が課題となっていたため本事業が行われた。駅北には虎渓用水広場が整備された。また、JR多治見駅南北連絡通路が完成し、駅南北双方からアクセスできるようになり利便性が高くなった。施工地区面積は 118,000㎡(イオンモール大垣の敷地面積程度 ⁶⁾)、総事業費は約 113.5 億円		
【194】	美濃加茂市中蜂屋	6	(2009-2015)	本地区は全域が都市計画区域であり、用途地域は工業地域に指定されている。「新産業立地による元気な都市づくり」を目標とし、公共下水道・防災施設の整備等を行い、安全で快適な市街地環境の形成を図ることを目的に本事業が行われた。整備後は企業誘致により、中蜂屋工業団地に企業が進出した。施工地区面積は 302,834.03㎡(東京ドーム 6 個半程度 ⁵⁾)、総事業費は約 31 億円		
【195】	美濃市松森(美濃インター前)	14	(2003-2017)	本地区は、公共施設の不足により宅地化が抑制されるなど高度な土地利用に支障をきたしているため、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図り、秩序ある市街地を形成するとともに効果的な土地利用を確保することを目的に本事業が行われた。区画道路や水路、公園、優良な宅地も整備された。施工地区面積は 125,971.74㎡(カラフルタウン岐阜の敷地面積程度 ⁶⁾)、組合員総数は 148 名		
【196】	北方町加茂	15	(1998-2013)	本地区では、人々の憩いの場として緑豊かな住みたくなるまちづくりを目指し、本事業が行われた。都市計画道路運動場加茂線と国道157号を骨格とした生活道路や町制120年記念公園をはじめとする都市公園等の住環境整備も整い、宅地として多くの家が建設され、更なる町の発展に寄与した。施工地区面積は 194,043.71㎡(モレラ岐阜の敷地面積程度 ⁶⁾)、組合員総数は 188 名、総事業費は約 32 億円		
【197】	北方町高屋西部	10	(2010-2020)	本地区は地区の約61.5%が農地利用となっており、宅地利用は約5.2%と低くなっているが、地区の中央を南北に縦断している都市計画道路馬場北方線は、工業ポテンシャルの高い路線と位置づけられており、本事業を行うことで沿道部から連鎖的に地区内への宅地化の土地利用転換が期待された。事業の施行により、馬場北方線沿道に商業施設や公園(清流平和公園)等が建設された。施工地区面積は 204,987.70㎡(モレラ岐阜の敷地面積程度 ⁶⁾)	